

難燃性材料のサイレント・チェンジ問題の取り組み

日本企業の調達先のグローバル化等により、現地企業からの部材調達も多くなっている中で、発注元の企業に無断で、部品の素材等の仕様が変更され、納品されてしまうという「サイレント・チェンジ」と呼ばれる事象が見つかっています。

サイレント・チェンジ問題の背景

具体的な事例としては、電源配線コネクタ部に使用する、絶縁性が求められる難燃性材料（難燃剤）を、部品・素材メーカーが発注者に無断で本来の仕様とは異なる十分な耐水処理が施されていない赤リンに変更したことにより、製品の使用状況や経年劣化によって導電性であるリン酸が析出し、端子間で短絡し焼損を引き越すといった事故が確認されており、同様な事象が多数の企業で確認されています。

サイレント・チェンジ問題への業界の取り組み

難燃性材料のサイレント・チェンジが行われた部材を組み込んだ製品は、期待された性能が発揮されないといった、安全上重大な問題につながる可能性があり、製品の故障などの原因となることがあるため、JEITA安全委員会では、会員各社に十分に部材の管理や調達先の監視などの対応をいただくようご注意をお願いするとともに、会員外の業界関係者に対しても、ご留意頂く旨の周知文書を発信いたしました。

安心・安全な社会の実現に向けて

今日、ビッグデータ、人工知能、ネットワークといった技術のめざましい進展により、あらゆるものがインターネットでつながる、IoT時代が到来しています。これら

新技術や新製品の多様化・高度化、さらには事業活動のグローバル化といった時流の中においても、安全性の高い社会の実現が世界的潮流であり、安全で安心して使える製品を提供することが企業の社会的責任であります。

事業活動においてサプライチェーン構造がますます複雑化する中、JEITA安全委員会では、製品安全確保に向けた品質向上活動ならびに安全啓発活動の積極的な取り組みを推進してまいります。



難燃性材料のサイレント・チェンジに関するご注意

<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/topics/detail.cgi?n=3417>



新しい製品安全課題“サイレントチェンジ”の現状

http://www.meti.go.jp/product_safety/producer/point/pdf/silent_change.pdf

出典元：経済産業省